

令和7年7月24日(木)
一般社団法人郡山医師会 様

今後のこおりやま市政、 医療行政の推進について

郡山市長 椎根 健雄



自己紹介

Personal Information



第15代
郡山市長 しいね 椎根 たけお 健雄

郡山市立大島小学校 卒業
郡山市立郡山第五中学校 卒業
福島県立安積高等学校 卒業（108期）
新潟大学農学部 卒業

高校時代は、将棋部に所属していました。
ジツと我慢の受けの戦型が得意です。
大学時代は、大豆の研究をしていました。
早朝3時から開花状況観察に通い続けたことも…

昭和52年1月20日生まれ（48歳）
郡山市日和田町在住

一つ一つのことを突き詰める粘り強さを養う

自己紹介（政治の世界へ）

大学卒業後地元へ帰省
青年会議所や商工会で多くの同世代の若者と関わる

（平成23年3月11日 東日本大震災発災）

平成23年11月 福島県議会議員（1期）

平成27年11月 福島県議会議員（2期）

（令和元年10月 東日本台風発災）

令和元年11月 福島県議会議員（3期）

（令和元年～ 新型コロナウイルス感染症の流行）

（令和3年2月13日 福島県沖地震発災）

（令和4年3月16日 福島県沖地震発災）

令和5年11月 福島県議会議員（4期）

令和7年4月 郡山市長（1期）

- ・ 4月27日 初登庁
- ・ 6月13日～7月2日 市議会6月定例会

福島県議会議員時代



災害現場で聞いた市民の「声なき声」を政策につなげたい



今後も一貫して「市民目線」と「現場主義」の政治を貫いてまいります

市政運営がスタート！

市長就任から約3か月



4月27日 初登庁！



シティーマラソン



多数の表敬訪問・行事へのお誘いありがとうございます。

今後とも、よろしくお願いたします。



<私の行政運営における信条>

- 「誠実さ」と「粘り強さ」を大切に
- 市職員の知恵を活かすボトムアップ型の運営を
- わかりやすく・親しみやすい情報発信を



今後も、市政発展のため、積極的に行事に参加・トップセールスしてまいります。



市政運営3つの柱 6月補正予算の概要

市政運営の3つの柱

地方創生2.0

国の動向 新しい地方経済・生活環境創生本部

人口・生産年齢人口が減少するという事態を受け止めた上で、
人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていく。

基本的考え

合 致

市政運営の3つの柱

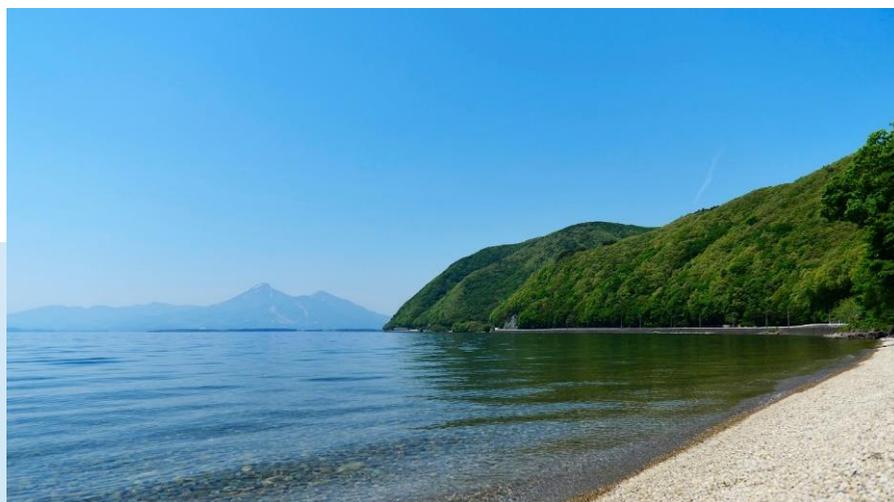
相互補完する3つの柱

- 1 選ばれるまち
- 2 暮らしの充実・笑顔になれるまち
- 3 経済の活性化

持続可能な郡山の未来を築いていく基盤

1 選ばれるまち

「郡山らしさ」にさらに磨きをかける



「猪苗代湖」

2025年7月 ラムサール条約の登録予定

開拓者精神

陸の港

中核市

経済県都

音楽都市(楽都)

連携中枢都市圏

SDGs未来都市

セーフコミュニティ

JR郡山駅西口の交通混雑対策

郡山駅西口ロータリーの改修等をはじめ、郡山駅周辺全体の混雑対策等に取り組みます。

→「6月補正予算の概要」において説明します。

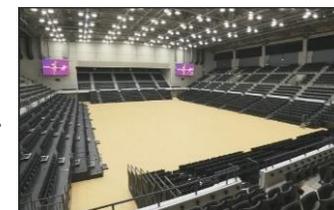


2 暮らしの充実・笑顔になれるまち

市民の皆様一人ひとりが安心した暮らしを営めること



- 暮らしに豊かさと活力を与える
文化・芸術・音楽・スポーツの振興
・開成山体育施設リニューアル
・地元トップスポーツチームとの連携



宝来屋ボンズアリーナ

- ファミリーが住みやすいまち
・保健・教育・医療の連携強化
・学童保育の充実
→家庭の多様なニーズに応える



こども食堂の活動

防災・減災への備え ～命を守るインフラの整備～

○気象災害への備え



準用河川の河道掘削工事



市独自に雨量計を設置

○避難所の機能拡充



ワンタッチパーテーションの整備



気化熱冷風機の設置

3 経済の活性化

持続可能な地域経済の発展を目指して



- 経済県都の強みを活かす政策を
- 地元企業の成長支援、新たな企業誘致を

健康医療先進都市のブランディング

農商工等連携による
販路拡大も

福島県は国内屈指の「医療機器生産県」!



医療用機械器具の
部品等出荷金額
(2021) 全国 第**1**位

医療機器
生産金額
(2022) 全国 第**3**位



ふくしま医療機器開発支援センター

令和7年度6月補正予算の概要

【令和7年郡山市議会6月定例会提出議案概要】



【平成6年の郡山駅西口ロータリー】



【現在の郡山駅西口ロータリー】



郡 山 市
令和7(2025)年6月6日(金)

(3) 補正予算の考え方

本年度当初予算は、いわゆる「骨格予算」として予算編成を行ったことから、6月補正予算は、当初予算編成方針等を継承しつつ、地域の課題解決、子育て・教育・保健福祉等の支援、経済・雇用創出・地域創生の推進、まちづくり、防災・都市力の強化など、時宜を捉え今必要な予算を「肉付け予算」として編成しました。

6月補正予算

地域の課題解決

子育て・教育・保健福祉・物価高騰対策

経済・雇用創出・地域創生

まちづくり

防災・都市力の強化

令和7年度当初予算

「ウェルビーイング都市実現型」課題発見・解決先進都市の創生

基本方針

① 「子どもが安心して生まれ育つことができるまち」の実現に向けた地域全体での支援

② 全世代が多様性を尊重し、社会とつながり合う生涯活躍のまちづくり

③ デジタル行財政改革を踏まえた公共サービス等の維持・強化

④ サーキュラーエコノミー(循環経済)の実現に向けた施策推進

⑤ 気候変動に対応した危機管理対策の強化

「バックカasting思考」「フィードフォワード」の視点による戦略的な施策推進

まちづくり基本指針
～みんなの想いや願いを結び、未来(あす)へとつながるまち 郡山～
5つの大綱と基盤的取組

(4) 「3つの柱」の主な取組

日本が人口減少・少子高齢化という厳しい課題に直面するなか、安積開拓で培われた本市のポテンシャルを最大限に引き出し、「3つの柱」で市政発展に取り組んでまいります。

選ばれるまち

①渋滞緩和で魅力向上

渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施【新】

6,000万円

郡山駅西口ロータリーの改修をはじめ、郡山駅周辺全体の渋滞対策等に取り組みます。

【P12】

②魅力発信・関係人口創出

こおりやま広域圏の魅力向上策促進【拡】

870万円

こおりやま広域圏の魅力を発信し関係人口の創出を図ります。

【P21】



暮らしの充実・笑顔になれるまち

①子どもたちの未来を全力で応援

放課後児童クラブの夏季教室を試行的に開設【新】

92万円

夏休み限定の児童クラブを試行的に開設します。

【P15】



②自然災害に強いまちづくり

愛宕川（善宝池）等の浸水対策を実施【継】

3億2,466万円

愛宕川（善宝池）等を改修し、浸水対策を進めます。

【P23】

経済の活性化

①戦略的輸出・販路拡大

農工商等連携による販促拡大【継】

194万円

国内外における農林水産物・食品等の戦略的な販路・輸出拡大を図ります。

【P18】



②潜在的起業家発掘

KORIYAMA発スタートアップをサポート【新】

457万円

起業家の資金調達支援と、次世代の起業家育成に取り組みます。

【P19】

(5) 主な補正項目等

I 地域の課題解決

渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施	【P12】	6,000万円
デジタル新技術を活用した舗装点検を実施	【P13】	617万円
東部地区でデマンド型交通導入の社会実験を実施	【P14】	507万円

II 子育て・教育・保健福祉・物価高騰対策

放課後児童クラブの夏季教室を試行的に開設	【P15】	92万円
若い世代の結婚新生活を応援	【P16】	4,302万円
中学校給食センターを集約化・新設	【P17】	※ 141億3,208万円

III 経済・雇用創出・地域創生

農商工等連携による販路拡大	【P18】	194万円
KORIYAMA発スタートアップをサポート	【P19】	457万円
企業誘致及び立地企業の事業拡大を推進	【P20】	582万円

IV まちづくり

こおりやま広域圏の魅力向上策促進	【P21】	870万円
旧豊田貯水池の利活用を推進	【P22】	802万円

V 防災・都市力の強化

愛宕川（善宝池）等の浸水対策を実施	【P23】	3億2,466万円
-------------------	-------	-----------



【中学校給食センター整備事業】



【海外販路開拓】

新 渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施

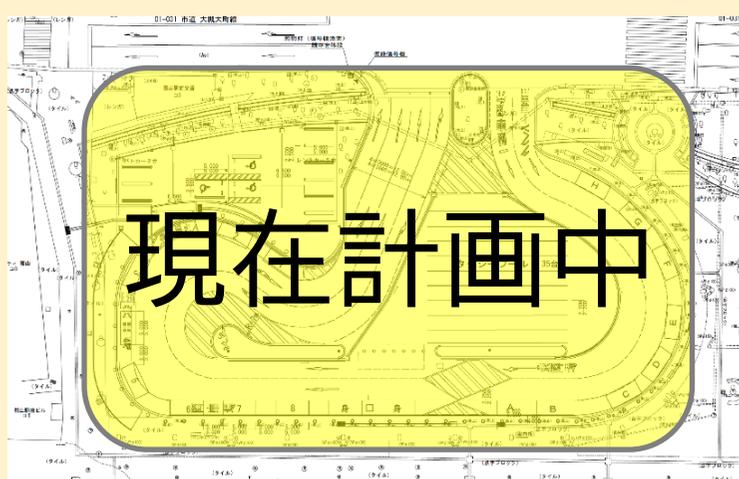
～駅前広場施設改修事業費の一部～



6,000万円

財源区分：単独

郡山駅西口ロータリーの改修等をはじめ、郡山駅周辺全体の混雑対策等に取り組みます。

	短期対策	中期対策	長期対策
対策	<p>社会実験</p> <p>一般車の待機場所を設置</p> <p>↓</p> <p>中・長期対策へ反映</p> <p>令和7年度社会実験活用箇所(案)</p> <p>①タクシープール ②郡山駅西口駐車場 ③郡山駅周辺の市道の路肩</p>	<p>郡山駅西口ロータリーの改修</p> <p>一般車ゾーンとタクシーゾーンの分離等</p>  <p>現在計画中</p>	<p>郡山駅周辺全体の渋滞対策</p> <p>西口、東口周辺全体において対策を実施</p> 
令和7年度		<ul style="list-style-type: none"> ○基本設計：一般車及びタクシーゾーンの位置や進入ルート等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本構想：改善すべき箇所を検討 ○交通量調査 ○交通量予測
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> ○実証実験等 	<ul style="list-style-type: none"> ○実施設計：改修工事に向けた詳細な設計 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本計画：基本構想を実行するための具体的な方法等を検討 ○補足調査
令和9年度		<ul style="list-style-type: none"> ○改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ○対策の実施：路線バスルートの変更、一方通行区分変更等

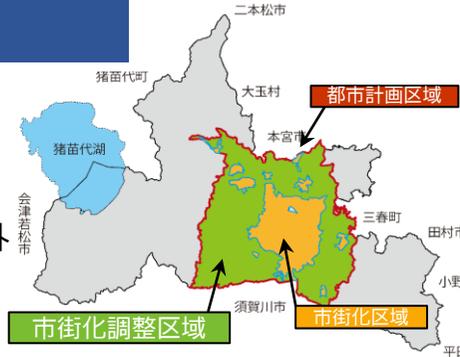
都市計画法第34条第12号（市街化調整区域における開発許可等の基準）に基づく条例の制定について



2025/7/3 都市構想部都市政策課

1 条例制定の背景

□区域区分(市街化調整区域)の決定
都市計画法第7条に基づき、本市では、1970(昭和45)年10月15日に区域区分が決定され、約55年にわたり、市街化調整区域において、法律で認められた建築物以外の建築物の建築が制限されてきました。



□都市計画法第34条第12号を活用した条例の制定

近年の気候変動、人口減少・超高齢社会の進行等に伴う、多様な土地利用に対する社会的要請が高まっていることから、本市では、**市街化調整区域内の区域を指定し、予定建築物等の用途を定め、一戸建て住宅等の建築が可能となる条例を制定します。**

2 条例の概要

郡山市都市計画マスタープランの土地利用方針に基づき、都市計画法第34条第12号に基づいた「**郡山市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例**」を制定します。

区域設定	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域のうち、50戸以上の建築物が連たんしている既存集落で相互間が50m以内の区域。 ・但し、農振法で定められた「農用地区域」及び政令で定める災害ハザードエリア(土砂災害警戒区域、浸水による早期立ち退き避難区域等は含まれません。) ・指定区域(案) 63地区 <p style="text-align: center;">指定区域(案)のパブリックコメントの実施 令和7年3月10日(月)から4月9日(水)まで</p>	
建築物の用途	<ul style="list-style-type: none"> ・自己用の一戸建て住宅 	<ul style="list-style-type: none"> ・兼用住宅 <p>(住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねる)</p>

既存集落区域内での一戸建て住宅等の開発・建築規制緩和

3 指定区域のイメージ

①50戸連たんエリアの抽出

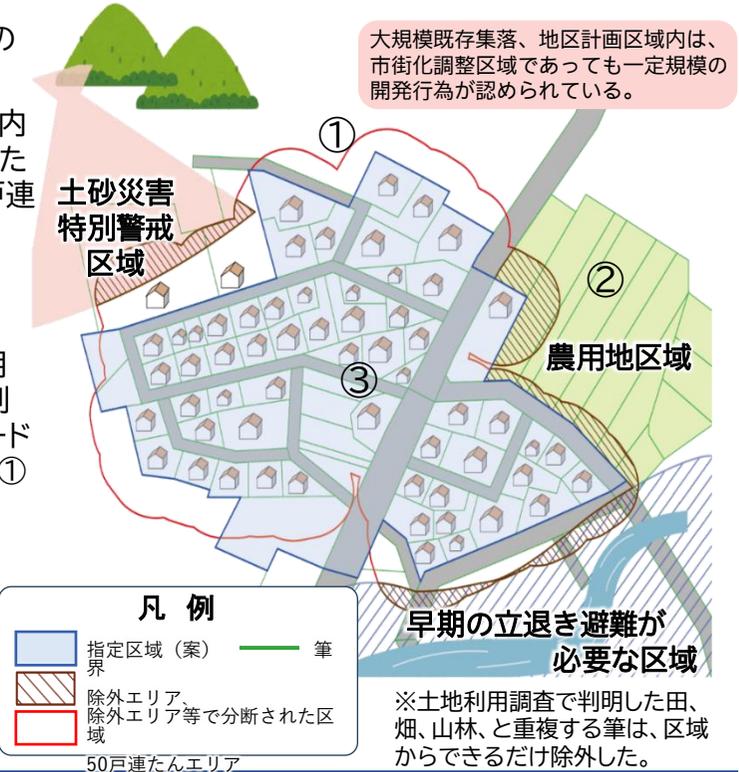
建築物が概ね50m以内の間隔で50戸以上連たんしている区域(50戸連たんエリア)を抽出

②除外エリアの除外

開発が制限される農用地区域や土砂災害特別警戒区域などのハザードエリアが重なる区域を①から除外

③区域の設定

①②の検討を基に、地形地物(道路、水路等)、または筆界で区域を設定



大規模既存集落、地区計画区域内は、市街化調整区域であっても一定規模の開発行為が認められている。

凡例

- 指定区域(案) 筆
- 除外エリア、除外エリア等で分断された区域
- 50戸連たんエリア

4 スケジュール

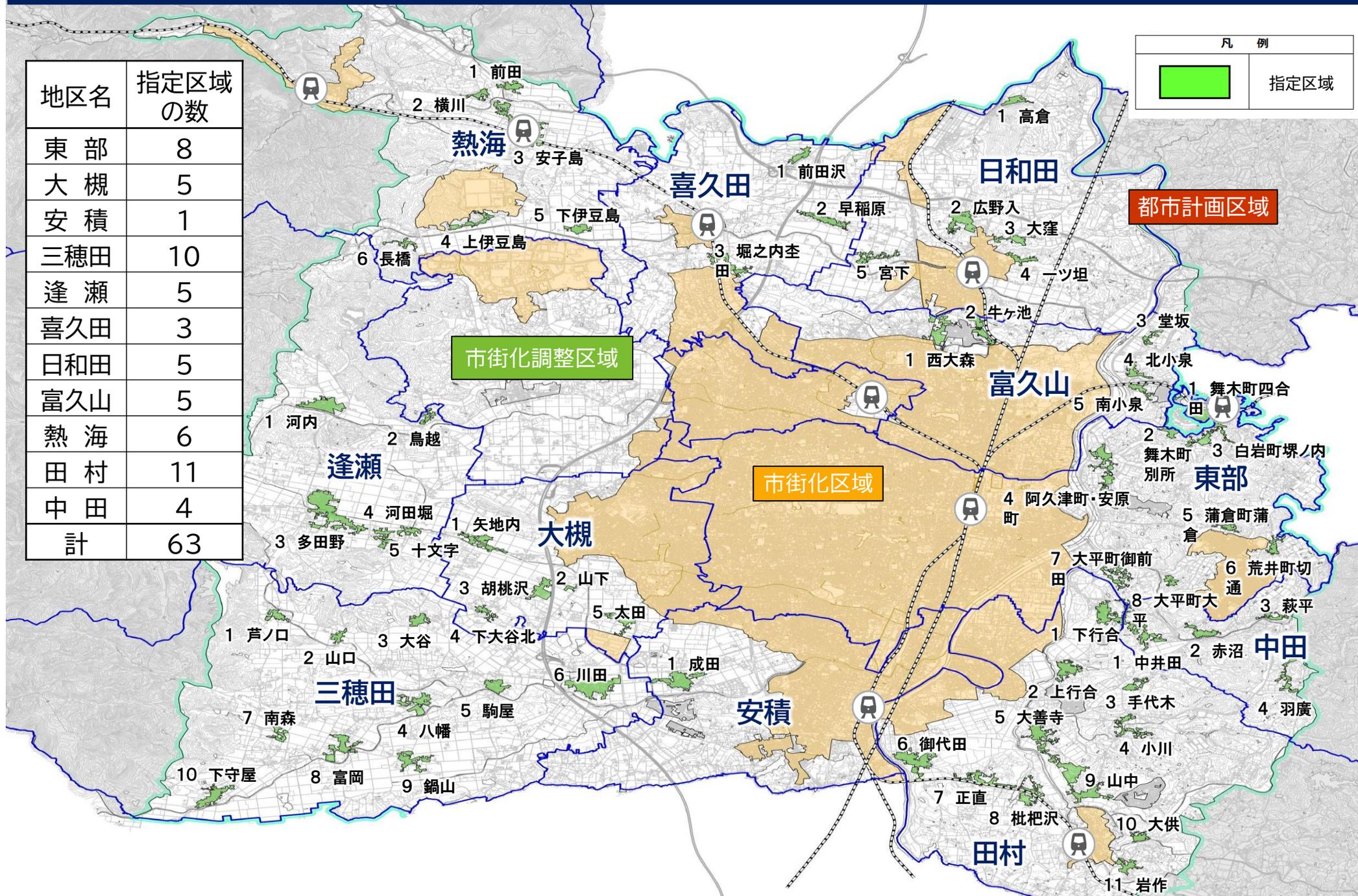
令和6(2024)年度						令和7(2025)年度				
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	住民説明会 11/11 ~ 11/26		開発審査会 都市計画審議会 1/30 1/28		パブリックコメント 3/10 ~4/9			6月定例会 上程	条例施行 7/3	

都市計画法第34条第12号（市街化調整区域における開発許可等の基準）に基づく条例の制定について



2025/7/3 都市構想部都市政策課

地区名	指定区域の数
東 部	8
大 槻	5
安 積	1
三穂田	10
逢 瀬	5
喜久田	3
日和田	5
富久山	5
熱 海	6
田 村	11
中 田	4
計	63



新 0歳児を養育する方へ給付金を支給

～0歳児養育支援給付金給付事業～

財源区分：重点支援地方交付金、一般財源

郡山市は、ベビーファースト推進の一環として、「こどもが安心して生まれ、育つまち郡山の実現」を目指し、物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活支援（光熱水費等）として、令和7年度に出生した新生児1人当たり5万円を支給します。

1 対象者

対象者 要件	令和7年4月1日～令和8年3月31日までに生まれた子を養育する市民
対象者数	約1,800人

3 予算内訳

- ・扶助費 9,000万円（一人当たり5万円×1,800人）
- ・事務費 1,632万円（システム運用、郵便代等）

2 給付内容・方法

申請 及び 給付方法	申請不要・・・プッシュ支給 <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日時点で郡山市から児童手当を受給している方 ⇒ 児童手当の受給口座に振込み
	申請が必要・・・受付後、速やかに給付 <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日時点で郡山市から児童手当を受給していない方 (転入者、出生者、公務員等) ⇒ 申請のあった口座に振込み
	【申請方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・出生届時に窓口で申請 ・申請書等を対象者に郵送し、郵送申請

4 給付スケジュール

令和7年 9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月
プッシュ支給 (9月)						
	★ 申請受付開始				申請受付分の給付 (以降、随時速やかに支払)	
						受付終了(4月末)

郡山市の医療行政の推進について



喫緊の課題

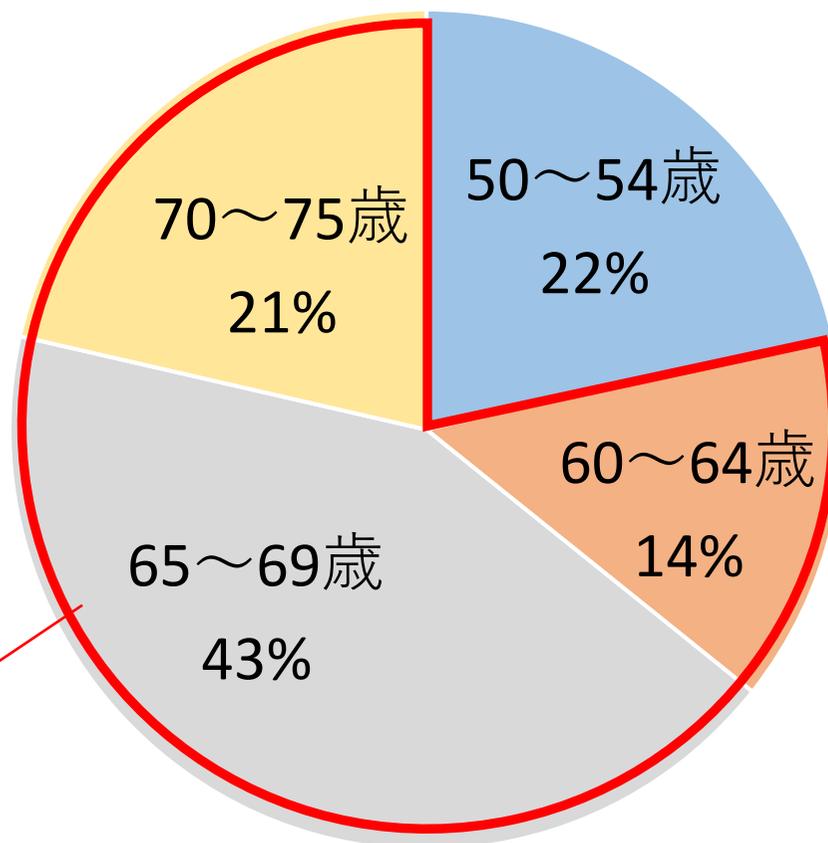
- 1 小児科医の高齢化**
- 2 救急搬送数の増加**
- 3 救急医療体制の充実**

本市の課題の現状

1 小児救急医療の現状

- 平均年齢 64.8歳
- 在宅当番協力医療機関 13機関
(昨年度比2減)

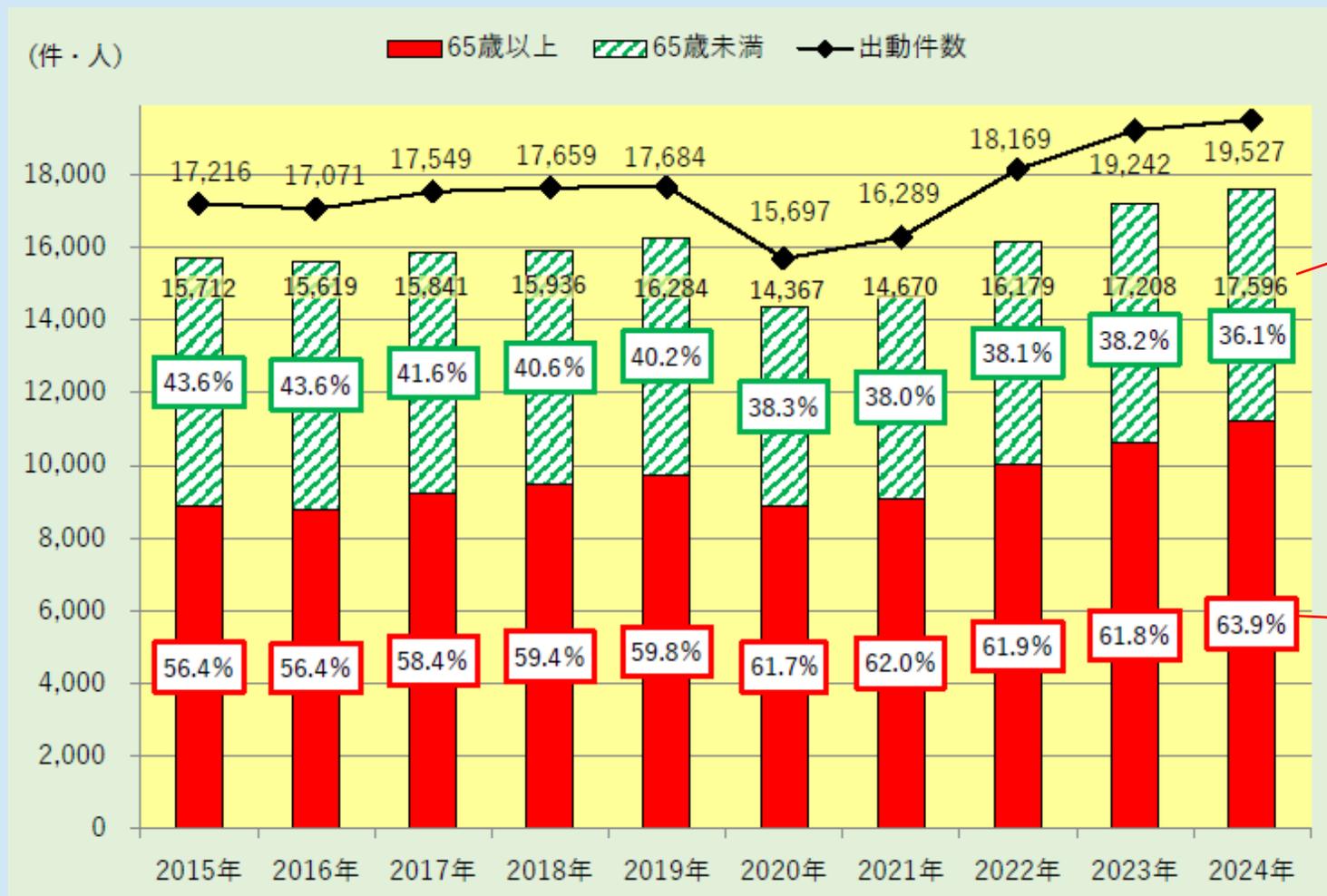
平均年齢 64.8歳
60歳以上 全体の約80%



本市の課題の現状

2 救急搬送数の増加

・ [#7119] [#8000] の利用促進



**救急搬送数
R6 17,596件
(過去最高)**

**65歳以上割合
63.9%**

3 救急医療体制の充実

・ 救急医療の営業実態の把握



持続可能な救急医療体制の構築



医療の充実がまちの魅力につながる健康医療先進都市





**私は、郡山市の
ポテンシャルと底力を
信じています**

**このまちは、
可能性に満ちています**

それぞれの個性が輝く
飛躍するまちを
一緒に創ってまいりましょう

